

2019 年度 津田塾大学同窓会 阪神支部総会のご報告

2019 年 10 月 6 日（日）11：30～15：00 ホテル・ヒルトン大阪 2F 奈良の間にて

昨年度の総会は台風接近により中止となりましたが、今年は良いお天気に恵まれ、68 名の同窓生が集いました。写真を中心に当日の様子をご紹介します。



まず、筒井支部長より挨拶と活動報告がありました。東京での同窓会総会の報告、支部メーリングリストの利用状況、同窓生のご著書の紹介など。“創立 120 年を迎える母校を関西からも応援しましょう” 新五千円札も楽しみです。



司会の福田さん

メーリングリスト担当の赤井さんより、システム移行に関する説明と協力をお願い、加入の呼びかけがあり、その後、会計担当の高橋さんからの 2018 年度収支報告をもって総会は終了しました。



前支部長武谷さんの乾杯の音頭により、和やかな雰囲気です。食事会がスタートしました。毎年楽しみなお料理プラン。今回もシーフードとお野菜中心の、美味しく上品なメニューでした。



お食事が終わる頃、いよいよゲストのご登場です。

記念講演「スウェーデン今昔物語 一軍事国家・福祉国家・支援国家一」

講師：大阪大学大学院言語文化研究科 准教授 古谷大輔氏



古谷氏のお話は、まず津田塾大学との深いつながりのエピソードからスタートしました。津田塾大学の国際関係研究所（1975 年設置）は北欧史研究の草分けで、古谷氏も守衛さんと顔なじみになるほど通っておられたそうです。水戸つながりで、山川菊栄の紹介もされました。



講演は、スウェーデンの地勢、歴史、政治体制から文化まで、濃い内容でした。一過酷な自然環境の中、強い王国としての「軍事国家」から全ての国民の権利を保障する「福祉国家」へ。そして平等ゆえの生活の画一化を経て、選択の自由を認める「支援国家」へ。今スウェーデン社会では、能力や収入による格差が広がりつつあるとのこと。古谷氏の絶妙なトークに北欧＝福祉大国という固定イメージが塗り替えられた、あっという間の 1 時間半でした。

最後に「アルマ・マータ」を合唱し、記念撮影をして終了しましたが、懐かしい再会も多々あったようで、しばらくおしゃべりに花が咲いていました。また来年もお会いしましょう！

